

(別添資料1)

事業所名

放課後等デイサービスぽけっと

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025

年

3

月

1

日

法人（事業所）理念		子供達の成長を支援するため、間接的・直接的に個々の能力を才能を引き出すことに情熱を注いでいます。教育の一端を担い、社会全体の持続的な発展に貢献することを使命とし、学校や教育関連会社、保護者、地域社会とパートナーシップを築き、知識とリソースを共有しつつ、より包括的・持続的な教育及び療育サービスを提供することを理念とします。										
支援方針		○安全な環境：子供達の安全と安心を最優先に考えます。子供達の行動には全職員が徹底して留意指導し、感染対策や防災避難訓練を行うなど、セキュリティ対策も徹底します。 ○様々な活動：子供達の多様な興味や才能に応えるべく、経験豊富なスタッフが幅広い分野での体験や学習を提供し、子供達の創造性や好奇心を育んでいます。 ○学習支援：学校の宿題などに支援が必要な子供達には学習サポートを行います。この支援を通じて、学習習慣の形成などもサポートしています。 ○コミュニケーションと他者への協力：子供達のコミュニケーション能力や協力を伸ばすために、グループ活動やチームプロジェクトなどを積極的に取り入れ、将来的に社会生活上必要となる基本的スキルの向上を目指しています。										
営業時間		通常日	13	時	00	分から	17	時	00	分まで	送迎実施の有無	ありなし
		学校休業日	9	時	00	分から	17	時	00	分まで		
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	○利用時における検温や健康状況は職員間確認を必須事項とし、全職員が共有しています。 ○アレルギー症状に対応した支援を行っています。（食材の確認、エビベン対応等） ○子供達の日々の活動において、一人一人に用意された荷物かごへ持ち物の整理整頓、活動時間中に扱った物品の整理、忘れ物のチェックなど、一連の流れを身に着けさせることで、日常生活動作の基本的スキルを獲得できるよう指導しています。同時に、各個人に応じてのトイレトレーニングも行っています。 ○活動の合間におやつを提供、水分補給なども行い、子供達の健康増進及び生活スキルの向上に努めています。										
	運動・感覚	○姿勢や運動動作などの基本的技能向上のため、遊具を用いた身体的運動、リズム活動、制作活動(各種道具を用いた微細活動)などを行っています。 ○ミニ運動会などを行うことでの運動療育も行います。同時に、本人が室内外で安全な活動ができるよう職員が適宜補助しながらの支援を行います。 ○感覚の補助・代行手段の活用として、各個人に合わせた支援(指差し、声掛け、視覚的に判断しやすい方法)を行います。 ○保有する感覚(視覚、聴覚、触覚等)を各個人が活用できるプログラムを提供します。また、補聴器等の補助具使用時には、本人に適合した適切な方法により、職員が留意しつつ使用補助を行います。										
	認知・行動	○ブロックやワミー(連結遊具)、折り紙などの遊具を用いた活動により、知覚から行動への手掛かりとなる概念形成確立を目指します。 ○雛祭り会、こいのぼり工作など、その季節ごとの行事に関する制作活動を行うことで、制作工程管理による時間概念の形成に努めています。また、決められた時間で通学校からの課題を行うなど、本人の時間管理に対する支援も行います。 ○ダンスなどのパターン化された動作を習得させていくことで、自分が得た情報を知覚し、それを実際の行動につなげるといった支援を行います。また、動画視聴によって、本人が得る情報に対して適切な処理がなされるようなビジョントレーニングにも配慮しています。 ○活動中は職員全員が子供達に接しながら、子供達各個人の感覚や認知の偏りを職員全員が常時共有し、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への支援を行っています。										
	言語 コミュニケーション	○様々な場面で自分の考えを表出するため、指差しなどによるサインを活用させつつ、それを言語化できるよう自発的な発声を促す支援を行います。 ○絵画制作を通じて、その絵が何を表しているのかを言葉として書き記す、さらには他人にそれを言語として説明するなど読み書き能力の向上、及び言語を通じたコミュニケーション能力の向上に努めています。 ○ハロウィンの家作りなどの制作を子供達全員で行うことで、お互いの役割関係を理解し、活動中には自分の意見を言語及びサインとして相手に伝えるなど、相互関係におけるコミュニケーション能力の向上も目指しています。										
	人間関係 社会性	○アタッチメントの形成のため、子供達を少人数グループに分割し、グループ毎に職員を割り当てつつ活動を行い、お互いの信頼関係を構築できるよう工夫しています。 また、他人に無関心である一人遊びの状態から、他人も交えた並行遊びを行わせるようにしています。定められたルールの中でお互いに協同し、かつ自分の行動特徴を理解させるとともに、情動調整ができるよう支援しています。 ○買い物ごっこ(模擬店)を通じて、客や店員となる模倣行為により、本人の社会性や対人関係の成長を促します。また、外出しての実際の購買により、大人が介在する中での自分の行動を知覚し、社会適応行動を理解させるように努めています。 ○季節ごとの様々な全体イベントを通じて、集団に参加するための手順やルールを理解させ、遊びや集団活動に積極的に参加できるよう支援しています。										
家族支援		○保護者面談(年2～3回)、個別相談支援(随時) ○保護者懇談会開催(年1回) ○保護者向け研修会(ペアレントトレーニング)開催(年1回) ○家族交流会開催(年1回)						移行支援		○放課後児童クラブと併用している児童については、将来的には放課後児童クラブ単独利用できるよう支援を行います。また、他児童に関しても、障害程度が緩和されたと判断できた場合、放課後児童クラブなどとの併用、または移行となるように支援しています。		
地域支援・地域連携		○防災訓練時町内会役員参加(年2回) ○行政職員及び地域障害児保護者の当事業所開催の保護者向け研修会参加						職員の質の向上		○外部研修参加(年4回程度) ○事業所内研修(身体拘束、感染症等)(月1回) ○各種資格取得の奨励		
主な行事等		○お誕生日会、クリスマス会、ハロウィンパーティー、雛祭り会、野外活動(農作業体験及び各種野外行事、プラネタリウム、各種博物館、公園散策等) ○家族参観(希望日程による)、防火・防災訓練等										